

不条理な世界でゴールドな人たちが…

GTC(1万人のゴールド・シアター2016・Cグループ)

第1回公演

構成・演出/  
清家栄一

『気になるあいつ』

『カツドン』

『ゴミ』

『受付』

『虫たちの日』

2018年7月12日(木)

彩の国さいたま芸術劇場・小ホール

昼の部・13:00～ 夜の部・17:00～

【チケット料金】(全席自由・税込) 1,000円

【主催】GTC(1万人のゴールド・シアター2016・Cグループ)

【後援】公益財団法人 埼玉県芸術文化振興財団

【協力】一般社団法人 アナザーライフ協会 シナリオクラブ

★お問い合わせ 清水滋雄 090-2242-1382

★予約専用ダイヤル 090-4621-1257(田中)

絵・田中進(GTC)



## ごあいさつ GTC代表 清水 滋雄

GTCとは一昨年の12/7さいたまスーパーアリーナで公演された、1万人のゴールド・シアター2016「金色交響曲」～わたしのゆめ、きみのゆめ～に出演したCグループの略称です。

総勢1600人にも及ぶ大群集劇で(ギネスブックものか)マスコミにも取り上げられました。

この企画原案はこの年5月に急逝された彩の国さいたま芸術劇場の芸術監督だった蛭川幸雄氏の構想としてあり、その遺志を当初から構成・脚本部門で関わってきたノゾエ征爾氏が引き継ぎ、「ロミオとジュリエット」を下敷きに「老人の夢」をテーマにオリジナル作品として書き下ろし演出したものです。

この公演でCグループは89名おり、第二幕ロミオとジュリエットのバルコニーの場面で一人一台詞ありました。

公演終了後「これで終わりは残念」という思いから呼びかけがあり、参加して最後まで残ったのはその3分の1、今日の31名のメンバーです。一人一台詞が今回は一人平均三演目出演に加え、裏方も全員で分け負うというオールスタッフ体制で臨んでいます。演出及び演技指導は2年前ご一緒させていただいた、ベテラン俳優でありシナリオクラブ監修・アドバイザーの清家栄一氏にお願いしました。つたない素人集団の私たちのために誠心誠意・献身的なまでにご指導いただき、今私たちは汗かき恥かきベンかきながらも意地をかけて、短編・中編のオムニバス5本に取り組んでいます。

## 構成・演出 清家 栄一

今日は4月29日。既に2か月前から稽古をしていますが、ほとんどの出演者は台詞を覚えられていません。

もちろん僕の力不足です。演劇以前の問題も山積みです。正直僕は途方に暮れています。

今、アナタはさい芸の小ホールでこのパンフレットをご覧になっている…？

という事は、上演に漕ぎつけたという事なんですね？だとすれば奇跡です！

僕は演劇の神様って居るんだと思ってるんですよ。そして本当に今上演の幕が開くのなら、

この奇跡を起こしてくれた僕の演劇神は言うまでもなく…。

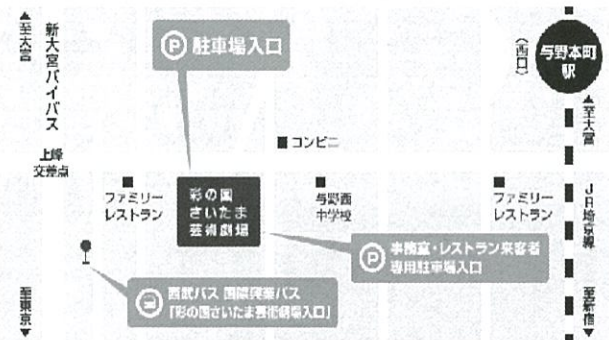
あの天才はどんな評価をしてくれるだろう？ やっぱり罵声と共に灰皿が飛んでくるのかなあ～



プロフィール

テレビ・映画出演を経て、1976年、蛭川幸雄氏演出の「オイディプス王」で初舞台以来「王女メディア」「近松心中物語」「NINAGAWAマクベス」「ファウストの悲劇」「血の婚礼」や「ハムレット」「リア王」「オセロー」などの彩の国シェイクスピア・シリーズ大多数への出演など、蛭川幸雄氏の絶大なる信頼を得て、蛭川作品に最も出演している俳優。

## 公演会場アクセス：彩の国さいたま芸術劇場



## 作品と作家名のご紹介

「気になるあいつ」 中田 智子  
「カツ丼」「ゴミ」 宇野 イサム  
「受付」「虫たちの日」 別役 実

(JR 埼京線 与野本町駅(西口)下車徒歩7分)

\*「お願い」会場内での撮影、録音はご遠慮ください。